

# イベント駆動型の自動化でより多くの成果を生み出す 5 つの方法

## Event-Driven Ansible で仕事を効率化してバランスを取り戻す

デジタルビジネスは IT に依存しています。その結果、IT スタッフは限られた予算やチーム規模で、拡大し続ける大規模で複雑な環境を常に稼働させ続けなければなりません。適切な IT 自動化ソリューションがあれば、チームは IT 環境を迅速かつ効率的に管理し、よりやりがいのある仕事に時間を割いてスタッフがワークライフバランスを取り戻せるようになります。

[Red Hat® Ansible® Automation Platform](#) に、新しくイベント駆動型の自動化機能が搭載されました。[Event-Driven Ansible](#) なら、手作業を行うことなく、IT 環境でイベントが検出されたときに事前に決められた方法で対応できます。[Ansible Rulebook](#) で if-then ルール、イベントソース、自動化アクションを定義するだけで、プラットフォームがサードパーティの監視および可観測性ツールから受け取ったイベントを適切なルールブックと照合し、システムの修復、チケットのロギング、さらには追加のイベント生成といったアクションを実行します。

Ansible Automation Platform でイベント駆動型の自動化を使用して、時間と労力を節約する 5 つの方法を紹介します。

## 1 問題をプロアクティブに修正する

業務やユーザーに影響が及ぶ前に潜在的な問題を自動的に特定し、修復します。システムまたはネットワーク監視ツールがパフォーマンスの低下、構成ドリフト、セキュリティの脆弱性などの潜在的な問題を検出した場合、Ansible Automation Platform は重大な IT インシデントを引き起こす前に問題を自動的に解決します。Event-Driven Ansible は、ソースからルール、アクションまで柔軟に対応できるため、必要な対応レベルを正確に指定できます。たとえば、問題の種類、場所、深刻度、および企業の IT ポリシーに基づいて、プラットフォームは自動的にシステムまたはネットワーク・コンポーネントをシャットダウンまたは修復し、イベントまたは IT サービス管理システムに関連データを記録し、IT サービスチケットを開くことができます。

潜在的な問題をプロアクティブに修正することで、時間外や週末の電話の原因となる IT インシデントや停止の多くを防ぐことができます。

## 2 トラブルシューティングの迅速化

初期対応アクションを自動化することで、トラブルシューティング活動を単純化および迅速化します。IT サービスチケットを通じてユーザーによって、またはインフラストラクチャ監視ツールによって IT インシデントが報告されると、Ansible Automation Platform はインシデントの種類や重大度、類似インシデントの頻度、確立された企業ポリシーなどの要因に基づいて、即座に適切なアクションを取ることができます。たとえば、影響を受けたシステムから構成情報やログファイルを収集し、関連情報をサービスチケットに追加することで、より迅速かつ少ない労力で問題を発見することができます。

トラブルシューティングの初期アクションを自動化することで、手動での情報収集に費やす時間を減らして問題解決に集中し、平均復旧時間 (MTTR) を改善できるようになります。

### 3 ユーザー管理要求に対応する

パスワードの回復やアクセス管理などのユーザー管理要求に自動的に対応します。ユーザーが IT サービスチケットを提出すると、Ansible Automation Platform がユーザーのロールや要求の種類など、さまざまな情報に基づいて要求を評価し、企業ポリシーに準拠してリクエストを自動的に処理できるかどうかを判断します。その結果に基づいて、プラットフォームは、パスワードのリセットや回復、アクセス許可の付与など、正しい対応を開始できます。

Ansible Automation Platform がこのようなスケジュール外の繰り返し作業を処理するため、チームは中断されることなく、重要な優先事項や戦略的作業に集中できます。

### 4 システムをプロアクティブに管理する

構成ドリフトを監視して自動的にアップデートを適用し、インフラストラクチャ全体にわたって IT システムの期待される状態を維持します。Ansible Automation Platform なら、すべてのインフラストラクチャ・リソースをレビューして、リリースされた構成とポリシーに一致していることを確認し、最新の情報を使用して非準拠のリソースを更新することができます。また、サービスチケットからの新しいリソースのプロビジョニングなど、イベント駆動型のアクションを開始し、時間、労力、コストを節約することもできます。

予定されたアップデートと予定外のアップデートの両方を自動化し、継続的に企業ポリシーへのコンプライアンスを確保することで、時間外や週末のアップデート作業を減らすことができます。

### 5 システムをスケーリングおよび調整する

ユーザーとアプリケーションの需要に合わせて、インフラストラクチャを自動的にスケーリングおよび調整します。ネットワーク帯域幅やレイテンシー、プロセッサやストレージの使用など、インフラストラクチャ監視ツールから報告されるデータ、現在利用可能な容量、企業ポリシーに基づいて、Ansible Automation Platform はインフラストラクチャ管理を単純化します。割り当てられたリソースを調整し、ストレージや処理をスケーリングしてネットワーク帯域幅を再割り当てすることで、システムをリアルタイムで調整することができます。

Ansible Automation Platform がインフラストラクチャ・リソースとユーザーやアプリケーションの要求とのバランスをとる継続的なタスクを処理するため、チームはより重要で興味深い作業を追求するための時間を得ることができます。

「Ansible Automation Platform にログやその他のデータフィードを監視させることで、企業は障害やその他のインシデントに対するプロアクティブな対応を開発することができます」

#### IDC Jevin Jensen 氏

IDC Quick Take、[「AnsibleFest 2022: Red Hat Ansible Expands to AWS and into Event-Driven Automation, Project Wisdom Looks to the Future of AI」](#)、Document #US49797022、2022 年 10 月。

## Red Hat Ansible Automation Platform によるイベント駆動型の自動化をお試しください

Red Hat Ansible Automation Platform によるイベント駆動型の自動化の詳細をご確認ください。[ansible.com/event-driven](https://ansible.com/event-driven) では、自分のペースで進められるインタラクティブラボ、有益な動画、その他のコンテンツをご利用いただけます。



#### Red Hat について

Red Hat は、[受賞歴のある](#)サポート、トレーニング、コンサルティングサービスをお客様に提供し、複数の環境にわたる標準化、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、複雑な環境の統合、自動化、セキュリティ保護、運用管理を支援します。

#### アジア太平洋

+65 6490 4200  
apac@redhat.com

#### オーストラリア

1800 733 428

#### インド

+91 22 3987 8888

#### インドネシア

001 803 440 224

#### 日本

03 4590 7472

#### 韓国

080 708 0880

#### マレーシア

1800 812 678

#### ニュージーランド

0800 450 503

#### シンガポール

800 448 1430

#### 中国

800 810 2100

#### 香港

800 901 222

#### 台湾

0800 666 052

f fb.com/RedHatJapan  
twitter.com/RedHatJapan  
in linkedin.com/company/red-hat